

SEPPの低周波増幅器に入る。一方、ディエンファシスされていない信号を相遅延時間に配慮したカットオフ周波数15kHzのLPF(基準化相遅延時間15 μ s)に入り、MPXサブキャリア分を排除して、FMローノイズ録音に供している。

(5) オートハイブレンド回路

FMステレオ弱入力時には雑音が増加し、聴きづらくなるが、LおよびRの高域を混合することによって雑音を軽減させることができる。このST-8600では雑音が気になる入力レベルから自動的に高域を混合し、雑音を軽減している。

(6) ミューティング回路

電源スイッチON、OFF時のショックノイズ、およびFM局間における雑音等の不快な音を排除するためST-8600ではリードリレーを用いAF信号回路の終段にシリーズに挿入しそれをON、OFFさせている。

完全同調点より ± 100 kHzでミューティングが動作する。また、この回路は前出のサーボチューニングシステムとも連動して動作している。

(7) ピンクノイズ発生器

これはホワイトノイズをオクターブ3dBのフィルタを通して得た周波数特性がフラットなノイズで録音レベルのチェックに使用するほかスピーカの音像の定位、音質のチェック等が簡単にできる。

(8) AM回路

AMはRF同調形1段増幅、他端ミキサ、IF1段増幅、ダイオード検波といったきわめてオーソドックスな構成を行なっている。

(9) 電源回路

定電圧化された ± 2 電源により、各部に安定な電圧を供給している。電源の安定は各部の性能に大きな影響を及ぼす重要なポイントである。